

蒔醬

Kinma ISOI Masami

磯井正美展

2006年2月24日(金)～3月26日(日)

●休館日 月曜日

●開館時間 火・金曜日(午前9時30分～午後7時) / 土・日曜日・祝日(午前9時30分～午後5時)
入室はいずれも閉館30分前まで / 初日は午前10時開展式

●入場料

一般600円(480円) 高大生400円(320円) 小中生200円(160円)

●()内は前売りおよび団体20名様以上の料金 前売りは美術館1階受付にて開催前日まで販売

●65歳以上の高齢者・長寿手帳等が必要・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
●会期中の土曜日は小・中・高生入場無料

主催 / 高松市美術館 西日本放送 共催 / NHK高松放送局
協力 / 社団法人日本工芸会四国支部 助成 / 財団法人地域創造



Takamatsu City Museum of Art

高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4

Tel.087-823-1711

ホームページ<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/647.html>

「蒔醬 道のべ 箱」(1989) 石川県輪島漆芸美術館蔵



「蒔繪 波 香盆」(1966) 京都国立近代美術館蔵



「蒔繪 陽炎 香盆」(1972) 東京国立近代美術館蔵



「蒔繪 彫漆 夕風 盆」(1978) 資生堂アートハウス蔵

磯井正美(1926~)は、磯井如眞の三男として高松市に生まれ、予科錬から復員して後、漆芸の道志しました。《積層》と呼ばれる、科ペニヤを貼り重ねて成形した素地。木彫用の丸刀を使って、より柔らかいイメージを出す《蓮華彫り》。金粉や銀粉を用いる沃懸地の技法。色漆の層による微妙な斑文の色調の変化。角剣による点彫りを応用した《往復彫り》。ぼかし塗りをし、研いで断面を出すグラデーションの効果。一見すると線彫りのような、筆を用いて色漆を埋める摩訶不思議な線の創案。その作風は繊細華麗な父如眞の作風に対し、「漆の古典的な美しさを現代の新しい感覚で生かしたムード派」と作者は自らをとときあかしています。蝶や万葉集に出てくる植物など身近な題材を象徴的に取り上げ、また波間のたゆたう動きや陽炎のゆらめく空気など通常では捕捉し難い形をモチーフとし、より奥深い心象風景を創出しています。こうして1985年、磯井正美は重要無形文化財蒔繪保持者に認定され、父如眞の没後解除されていた21年間の空白を埋めました。

本展示会は初期の作品から最新の作品約70点を展示する初の本格的な回顧展となります。

蒔 繪

磯井正美展

Kinma ISOI Masami



「蒔繪 敷石 箱」(1986) 資生堂アートハウス蔵



「蒔繪 存清 蒲甘紀行 合子」(1991)
(財)ポーラ伝統文化振興財団蔵



「蒔繪 つらつら椿 方盆」(1994)

陳列品解説(観覧券が必要)

- 午後2時より2階企画展示室にて
2月26日(日) 磯井 正美氏(重要無形文化財蒔繪保持者、社団法人 日本工芸会理事、参与、漆芸部会長)
- 3月 5日(日) 山下 義人氏(香川県指定無形文化財保持者、社団法人 日本工芸会正会員)
- 3月19日(日) 藤田 正堂氏(社団法人 日本工芸会正会員)

ギャラリートーク(観覧券が必要)

- 当館学芸員による展示作品の解説
3月12日(日)、26日(日) 午後2時より2階企画展示室にて
美術館ボランティアCivi(シヴィ)による鑑賞ツアー
毎日曜日・祝日 午前11時~1日1回 2階企画展示室にて

アートで遊ぼう(鑑賞プログラム後期)

- 日時:12月3日(土)/2006年2月4日(土)/3月4日(土)
時間:午前9時30分~11時
対象:小学3~6年生 定員15名(先着順)
3回連続で受講してください。お申込みは美術館受付または電話にて。

常設展のお知らせ

- 第4期常設展 11月3日(木・祝)~1月15日(日)
- 第5期常設展 1月21日(土)~3月26日(日)
- * 特別展のチケットでご覧いただけます。

催物のお知らせ

- 昭和モダニズムの金工家たち 高松市美術館コレクション展II
2006年1月20日(金)~2月5日(日)



交通のご案内

- JR四国-JR高松駅下車、南へ徒歩15分
- ことでん-五訂駅・片原町駅下車、徒歩10分
- バス路線-(ショッピング)レインポー循環バス(紺屋町)バス停下車、徒歩3分
- 駐 車 場-美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)